

ホームページのご案内

事業者向けサイトのほか、消費者向けサイト、モバイルサイトなどをオープンしています。
「IR情報」のページには投資家の皆様への情報を掲載しています。



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
基準日	定時株主総会 12月31日 中間配当 6月30日 期末配当 12月31日
株主名簿管理 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
公告方法	電子公告 当社ホームページURL http://www.monotaro.com/main/ir

ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご 注 意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報メール配信サービスのお知らせ

適時開示情報やその他リリース情報をメールで配信！

ご登録は以下の当社ホームページよりどうぞ！

<http://www.magicalir.net/3064/mail/index.php>



モノタロウ レポート 15

第15期 中間報告書

平成26年1月1日～平成26年6月30日



トップインタビュー

15期 中間事業概況のご報告

品揃えと新たな顧客層の拡大により業績予想上方修正



「定期注文サービス」を開始

『経費節減カタログVol.3』を発刊

MonotaRO.com内に農業資材・
厨房用品の専用モールを開設



モノタロウが行く！ 尼崎ディストリビューションセンター本稼働

株式会社 MonotaRO

証券コード：3064

サービス規模と価値をより一層高め、成長を加速させてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに、第15期第2四半期(平成26年1月1日～平成26年6月30日)の事業概況を
代表執行役社長 鈴木よりご報告させていただきます。

→第15期(2014年12月期)第2四半期の決算概況をご説明ください。
購買プラットフォームとしての価値向上を着実に進め、増収増益を達成

経済政策による円安などの影響が、昨年10月以降、当社の主要顧客層である中小製造業、工事業、自動車整備業に徐々に出てきたこともあり、前年同期比30%超の売上を達成しました。特に3月は消費税増税前の駆け込み需要も相まって前年同月比51%増の伸びを示し、懸念された4月以降の増税後の反動も限定的となり、堅調な売上で推移いたしました。



代表執行役社長
鈴木雅哉

一方で、新規顧客獲得活動、取扱い商品の点数拡大、Webサイトのシステム向上など、継続的な取り組みの成果が増大してきており、購買管理システムを通じた大企業との連携(大企業連携)、海外展開などの事業も順調に進捗いたしました。

その結果、2014年12月期第2四半期累計期間における売上高は21,305百万円、営業利益は2,218百万円、四半期純利益は1,338百万円となり、前年同期比で増収増益を達成いたしました。

→増収増益となった背景を教えてください。

多様なニーズに応える価値あるサービスを提供し、新規顧客獲得ペース増大

リスティング広告の投稿や検索エンジン最適化を主軸に、カタログ発刊、Eメール、FAXなどによるプロモーションを積極的に展開し、新規顧客獲得に注力いたしました。さらに、3月末から4月にかけて関西、名古屋、長野、静岡にてテレビコマーシャル(TVCM)の放送を実施し、認知度向上に努めました。また、より使いやすいWebサイトを目指したテストと改良も継続的に行ってまいりました。

そのほかにも、3月より定期注文サービスを開始いたしました。対象商品をご指定の頻度や数量に従って定期的にお届けすることで当社の継続的なご利用を促進すると共に、定期的な発注の手間を省略できるメリットがご好評をいただいております。また、新カテゴリとして「農業用品・園芸用品」と「厨房用品・キッチン用品」の専用モールを5月に開設、顧客層の拡大と既存顧客の潜在ニーズに応え、売上は順調に伸びております。取扱い商品点数拡大にも尽力し、2月時点で700万点を突破、新物流センターも本格稼働し、それらの出荷を支えています。

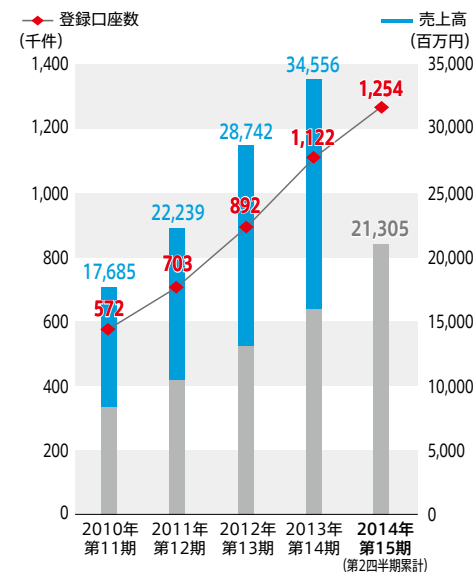
これらにより、新規顧客獲得ペースが増大し、半年間で132,171口座の新規顧客を獲得、口座数は1,254,462となりました。

→第15期通期の業績見通しをお聞かせください。

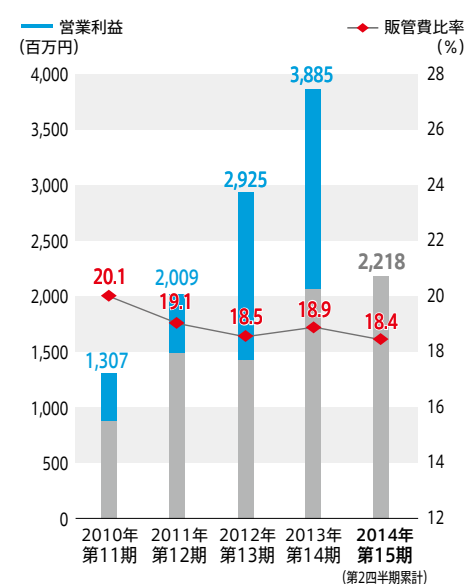
**連結業績予想を上方修正
着実な成果を積み上げ、サービス規模拡大を推進**

上半期では、新たに投入したNB商品の販売拡大に加え、韓国子会社も順調に推移し、下半期においても当初計画を上回る拡大が見込まれることから、連結業績予想

登録口座数と売上高



営業利益と販管費比率



を上方修正いたしました。今後も中小企業向けB to B通信販売を主軸に、大企業連携推進と海外展開に注力し、当社のなすべきことを着実に積み上げ、新規顧客獲得推進、売上およびサービス規模の拡大を実現していく所存です。

下半期には、より一層の認知度向上に向けた首都圏でのTVCM放映、定期注文サービス対象商品の拡大、「農業用品・園芸用品」「厨房用品・キッチン用品」の取扱い商品点数拡大と各カテゴリのカタログ発刊を予定するなど、さらなるサービス規模の拡大を進めてまいります。

顧客数増加に伴い、飛躍的に増大する出荷数と取扱い商品点数を支える物流インフラの整備が必須です。7月に数年の成長を見込み新たに物流センターを開設し、一時的な負担の増加は見られますが、効率的かつ確実なオペレーションの構築、またコストを絞り最適化を図ることを最重要課題としながら、今年度中に20万点の在庫実現を目指してまいります。

大企業連携は前年同期比2倍以上の伸びを示しています。また、7月にリリースした大企業向け購買管理システム「モノタロウ ONE SOURCE」は、当社データベースの活用により仕入先情報などを一元管理し、商品検索・比較から発注までをワンストップで行うことを可能にします。購買業務にかかる時間短縮と調達コスト削減の価値をご理解いただき、導入に向け数社と商談中です。

海外展開におきましては、韓国NAVIMRO社は、マーケティング強化や取扱い商品点数拡大を引き続き行い、顧客獲得と売上拡大を進めてまいります。当社のe-コマースにおける知見やテストデータの提供などを行う海外コンサルティング事業も順調に進捗しており、米国Zoro Tools社の事業拡大、それに続く欧州での事業展開にも期待しています。東南アジア向け販売においても、売上が拡大しています。それぞれの国の需要規模がまだ小さいことを考慮した輸出型の事業モデルで一層の拡大を目指しています。

→株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

継続的成長を実現し、社会的役割を果たす企業を目指す

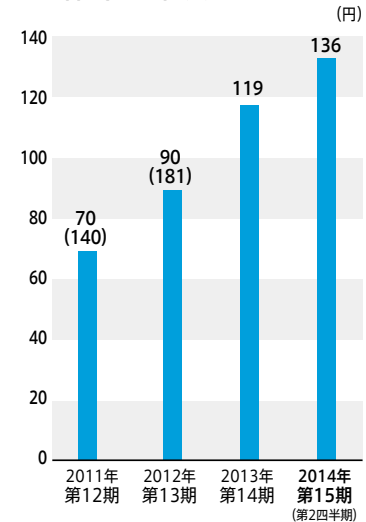
平素は当社をご支援いただきまして厚く御礼を申し上げます。成長を一段と加速させて利益を拡大し、株主の皆様へ還元することが企業としての使命だと認識しております。そして、社会インフラとしてお役に立てるよう、さらに価値の高いサービスを長きにわたって提供すべく、邁進いたします。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

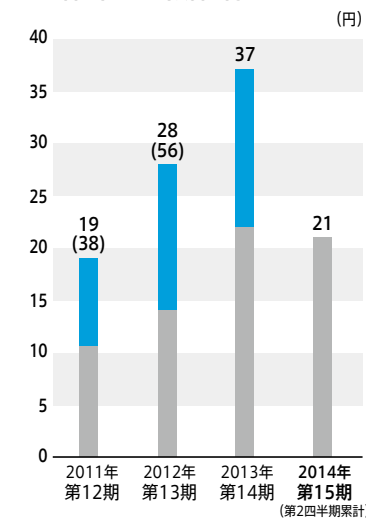
2011年第3四半期より、2011年8月に設立した「株式会社K-engine」を、また、2013年第1四半期より、2013年1月に設立した「NAVIMRO Co., Ltd.」を連結の範囲に含めております。なお、2013年1月に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。本資料内では過去の単独決算実績と12期以降の連結決算を並列して比較掲載しています。

※当社は、2011年8月16日付および2013年4月23日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。「1株当たり純資産」「1株当たり当期純利益」の13期以前の各期の数値は、当該株式分割を含む過去の株式分割に伴う影響等を加味した遡及修正値を使用しております。()内の数値は遡及修正前の数値です。

▶ 1株当たり純資産※



▶ 1株当たり当期純利益※



特集：ITのチカラ

担当執行役が語る 成長を加速させる“おもてなし”のIT戦略

Q1 モノタロウが提供するITを使った「おもてなし」とはいったいどのようなものでしょうか。

一般的に「おもてなし」というと、老舗旅館や高級ブランドショップなどの、行き届いたサービスを想像します。当社は基本的にWebサイトやカタログを通じて商品を販売しておりますので、お客様からお問い合わせをいただかない限り、お客様のお声を頂戴することができません。しかし、お客様がどんなページを見ているか、どこをクリックしたかという膨大なデータを統計処理することで、お客様が望まれているものを推測することができます。このデータをもとに、お客様にサービスを提供することが、私たちIT部門が目指しているおもてなしです。

現在、こういったビッグデータは、マーケティングに利用しているだけでなく、商品検索機能やおすすめ商品表示機能など、多くのシステムで活用しております。当社の700万を超える商品から、商品名やブランド名だけでなく、サイズや容量・材質といった

様々な角度から絞り込み、目的の商品を素早く見つけ出せるよう、機能を改善し続けています。今後は一人ひとりのお客様に向かい合う、より一層のパーソナライズ機能を強化し、システムを発展させていきます。

もうひとつのおもてなし、それは、お客様に安心してご購入物をしていただくことです。当社では、ほとんどすべてのシステムを我々自身の手で開発・運用しており、障害に強い安定したシステム基盤を構築し、日々改善に取り組んでいます。日々増大するアイテム数やトランザクションを支えられるよう、基幹システムの刷新も行っております。今後も、日々いかなるときでもお客様へのきめ細やかなおもてなしの提供を目指して取り組んでまいります。

Q2 7月から新物流センターの稼働が始まりましたが、新物流センターにおけるIT部門の役割はどのようなものでしょうか。

新物流センターの稼働開始により、WMS(倉庫管理システム)も一新されました。新物流センターでは、より効率的に物流業務を行うため、より多くの業務がIT化・機械化されており、いかに効率的に運用できるかは、システムの良し悪しに大きく左右されます。今後は在庫点数・受注件数などの増加を見込んでおり、その中でも効率を落とさないようにしていく必要があります。そのためIT部門では、物流部門と協力しながら、ピッキングの動線や需要の変化による在庫ロケの最適化など、様々な取り組みを行っていきます。より早く、より正確にお客様に商品をお届けすること、これもまた私たちが考えるおもてなしの一つです。



執行役IT部門長
安井 卓

手間なく安い「定期注文サービス」を開始

2014年3月、「従来型の“御用聞き”による販売をインターネットにより効率化し、購入頻度の高い商品を手間なく安くご購入いただきたい」という思いから、「定期注文サービス」を開始いたしました。軍手や手袋、テープ、洗剤などの汎用的に繰り返し利用される商品や、精製水や接着剤、土のう袋といった自動車整備業ユーザーや建築工事業ユーザー向けの商品まで、人気アイテム47商品がご利用いただけます。

サービス開始以降、毎月200件以上の受注をいただき、延べ利用が1,000件を超すなど、当社ならではのネットを活用した定期注文サービスの利便性を多くのユーザーに感じていただいています。



『経費節減カタログVol.3』発刊 取扱いアイテム数約700万点到達

2014年2月、養生用テープ、牛床革手袋、高圧洗浄機といった人気商品をはじめ、腰を曲げずに巻けるストレッチフィルムホルダー、液栓タイプメンテナンスフリーバッテリー、ツールワゴン等、当社お勤めの新商品も合わせた、60カテゴリ合計約10,000点のコスト削減に有用な厳選PB商品を掲載した『経費節減カタログVol.3』を発刊いたしました。それに伴い、取扱いアイテム数を約5ヵ月間で約200万点増の約700万点へと、これまで以上のスピードで拡大。さらに当日／翌日出荷可能商品を合計約284,000点に拡充するなど、ユーザーのさらなる利便性の拡大・強化を図っています。



MonotaRO.com内に専用モールを新設 農業および厨房用品販売事業へと参入

農業や飲食業といった新しい顧客層を開拓するために、2014年4月、「MonotaRO.com」内に2つの専用モールを新設し、サービスを開始いたしました。「農業資材・園芸用品」モールでは農業用機器等合計約11,000点、「厨房機器・キッチン用品」モールでは飲食業界で必要とされる商品約63,000点の、計約74,000点をご紹介します。今後はアイテム数の拡大を進めるとともに、PB商品の開発も予定しています。



事業内容の紹介

間接資材の流通を革新し、
様々な現場で満足いただける納期・価格・利便性を提供いたします。

国内外の卸業者・メーカー



仕入れ

700万超の品揃えと価格訴求力

- ◎直接輸入、卸業者からの仕入などによる、仕入ルートの最適化
- ◎価格訴求力のあるプライベートブランド商品の開発
- ◎ロングテール商品でお客様のニーズに対応



ご注文

お客様の購買を省力化

- ◎高いリピート率を実現するデータベースマーケティング
- ◎必要なものを手間なく探せる高度な検索性を備えたウェブサイト、ニーズに合わせたカタログなどの様々な販売メディア



お届け

低コストなオペレーション

- ◎データ分析を駆使し効率化されたオペレーションで受注から商品発送までを低コストに運用



全国125万超の事業者のお客様



サービス向上への迅速な体制

- ◎カスタマーサポート・物流センターを自社運営することによる、サービス向上への迅速なフィードバック体制

製造業、自動車整備業、
建設・工事業を中心とした
あらゆる現場に貢献

▶ 連結貸借対照表(要旨)

科 目	前期(第14期) 平成25年12月31日現在	当中間期(第15期) 平成26年6月30日現在
(資産の部)		
流動資産	12,660,319	12,667,105
現金及び預金	4,248,933	2,891,834
売掛金	3,760,722	4,158,869
たな卸資産	3,242,071	4,021,023
その他	1,436,797	1,620,423
貸倒引当金	△28,206	△25,045
固定資産	1,845,222	2,552,455
有形固定資産	404,501	1,012,755
無形固定資産	870,468	950,670
投資その他の資産	570,252	589,028
差入保証金	435,263	470,256
その他	151,991	133,464
貸倒引当金	△17,001	△14,691
資産合計	14,505,541	15,219,560

(単位：千円)

科 目	前期(第14期) 平成25年12月31日現在	当中間期(第15期) 平成26年6月30日現在
(負債の部)		
流動負債	6,787,758	6,319,854
買掛金	2,667,310	2,684,825
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払金	1,316,045	680,779
その他	1,504,402	1,654,249
固定負債	361,977	514,176
負債合計	7,149,735	6,834,031
(純資産の部)		
株主資本	7,255,363	8,274,697
資本金	1,821,473	1,844,903
資本剰余金	626,010	649,440
利益剰余金	4,950,943	5,923,417
自己株式	△143,063	△143,063
その他の包括利益累計額	26,957	38,180
新株予約権	73,484	72,650
純資産合計	7,355,805	8,385,529
負債純資産合計	14,505,541	15,219,560

▶ 連結損益計算書(要旨)

科 目	前中間期(第14期) 自 25年 1月 1日 至 25年 6月30日	当中間期(第15期) 自 26年 1月 1日 至 26年 6月30日
売上高	15,991,165	21,305,572
売上原価	11,075,900	15,175,214
売上総利益	4,915,264	6,130,358
販売費及び一般管理費	2,853,635	3,911,958
営業利益	2,061,628	2,218,399
営業外収益	23,247	37,934
営業外費用	10,017	12,441
経常利益	2,074,858	2,243,892
特別利益	138,404	90
特別損失	6,499	145
税引前四半期純利益	2,206,762	2,243,837
法人税、住民税及び事業税	930,225	850,928
法人税等調整額	△60,305	54,877
四半期純利益	1,336,843	1,338,032

(単位：千円)

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	前中間期(第14期) 自 25年 1月 1日 至 25年 6月30日	当中間期(第15期) 自 26年 1月 1日 至 26年 6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,390	△557,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△379,482	△426,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,918	△384,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,953	11,082
現金及び現金同等物の増減額	145,035	△1,357,098
現金及び現金同等物の期首残高	2,825,592	3,948,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,970,628	2,591,834

※平成25年第 1 四半期より、平成25年1月に設立した「NAVIMRO Co., Ltd.」を連結の範囲に含めております。なお、平成25年1月に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。

▶会社概要 (2014年6月30日現在)

社名	株式会社 MonotaRO (英文名 MonotaRO Co.,Ltd.)
本社	兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3F
物流センター	尼崎DC:兵庫県尼崎市西向島町75-1 多賀城DC:宮城県多賀城市栄2-1-1 プロロジスパーク多賀城3F・4F
設立	2000年10月
資本金	18億4,490万円
従業員数	865名 (アルバイト・派遣社員を含む)
主な事業内容	インターネットを利用した間接資材の販売

▶株式の状況 (2014年6月30日現在)

発行可能株式総数	84,480,000株
発行済株式の総数	61,656,200株
株主数	6,666名

▶大株主

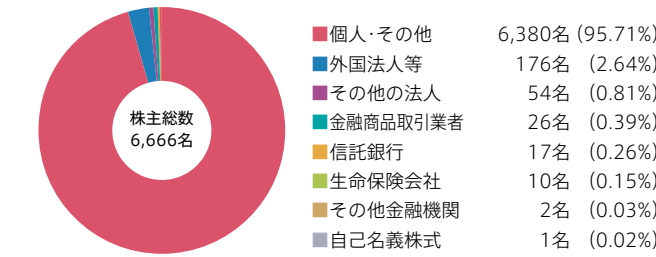
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
グレンジャーインターナショナルリンク	28,224,000	45.77%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,495,936	5.67%
グレンジャー ジャパン インク	3,040,000	4.93%
CITYBANK, N.A.-NY, AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY SHARE HOLDERS	1,447,954	2.34%
ジェビーモルガンチェース オープンハイマー ジャスデック レンディング アカウント	1,286,100	2.08%
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノントリーディー	1,169,400	1.89%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	986,500	1.60%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	877,000	1.42%
ビーエヌワイエム エスエーエヌバイビーエヌワイエム クライアント アカウント エムビーシーエス ジャパン	874,500	1.41%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	800,000	1.29%

09 会社情報

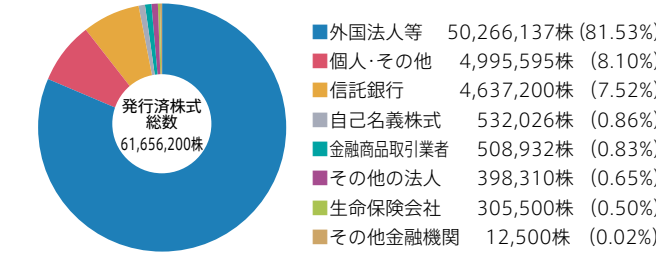
▶役員 (2014年8月31日現在)

取締役兼代表執行役社長	鈴木 雅 哉
取締役会長	瀬戸 欣 哉
取締役	宮 島 正 敬
取締役	山 形 康 郎
取締役	喜 多 村 晴 雄
取締役	岸 田 雅 裕
取締役	David L. Rawlinson II (デヴィッド・エル・ローリンソン II)
執行役	柴 垣 香 平
執行役	吉 野 宏 樹
執行役	甲 田 哲 也
執行役	安 井 卓

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



2014年7月より、 尼崎ディストリビューションセンター本稼働!!

2013年9月に完成した新しい物流拠点「尼崎ディストリビューションセンター」が2014年7月に本稼働を開始しました。より多くの商品を迅速にお届けするため、従来の3倍以上の在庫保有能力と2倍以上の出荷能力を兼ね備えた当社専用の物流施設です。ピッキングの自動倉庫や多層階搬送コンベア、自動梱包機など、より効率的なオペレーションにより迅速性、正確性、安定性をもって商品をお届けできる体制を整えています。さらなる事業拡大と成長を支える中枢機能として、今後は40万点という日本最大級の在庫商品の取扱いを目指して、お客様にとってより一層の利便性を感じていただけるよう取り組んでいきます。

自動倉庫

ピッキング商品の仕分け用

自動梱包機

人手作業のおよそ4倍の作業効率

多層階搬送コンベア

入荷～在庫～出荷の各エリアを自動搬送

10 モノタロウが行く!